HONDA
The Power of Dreams

チャイルドシート

取扱説明書

このたびは、Honda純正用品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、ご使用のまえによくお読みいただき大切に本体の所定の場所に保管し(P.4参照)、万一なくされた場合は、販売店にお申し出ください。

●当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合の責任は一切負えませんのでご承知おきください。また、取り付けできる座席につきましては、お車の取扱説明書、または販売店にご確認ください。

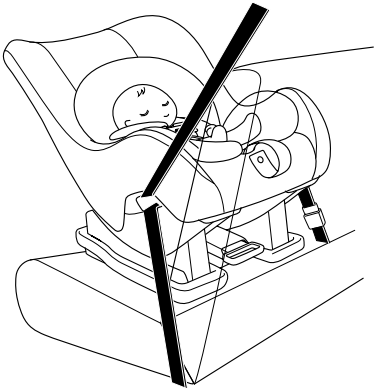
●商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

2022020M

Honda Access

このチャイルドシートは、自動車事故などの際にお子さまを衝撃から守ったり、衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗車装置です。シートベルトで車両側シートに固定してお使いください。
しかし、チャイルドシートは自動車事故において、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。

9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）が使用する場合



9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)が使用する場合

目次 2
各部の名称とラベル類の貼付位置・付属品 3～4
ご使用になる前に 5～14
●マーク表示について 5～6
●緊急時には 7
●ご使用上の条件 8～10
1.お子さまの条件
2.車の座席の条件
●取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト 11～12
●ご使用上の注意 13～14
9kg未満のお子さま（新生児～9ヶ月頃）が使用する場合 15～24
●最終取り付け状態 15
●取り付け前準備 15～16
●チャイルドシートの取り付け方 17～22
●お子さまの座らせ方 23～24
9kg～18kg未満のお子さま(9ヶ月頃～4歳頃)が使用する場合 25～32
●最終取り付け状態 25
●取り付け前準備 25～26
●チャイルドシートの取り付け方 27～30
●お子さまの座らせ方 31～32
お手入れ方法 33～35
●シートカバー類の取り外し方 33～34
●シートカバー類の取り付け方 34
●各部のお手入れについて 35
補修部品について 36
●補修部品について 36

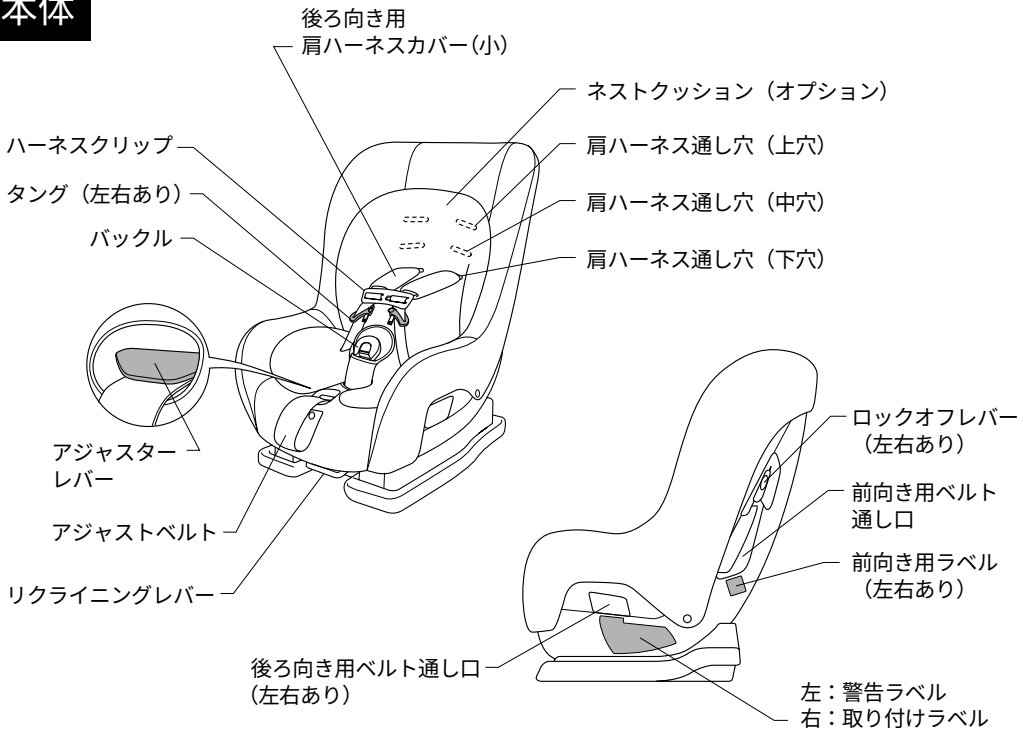
ご使用前の点検 箱から取り出した後やお使いいただく前は必ず次の点検を行ってください。

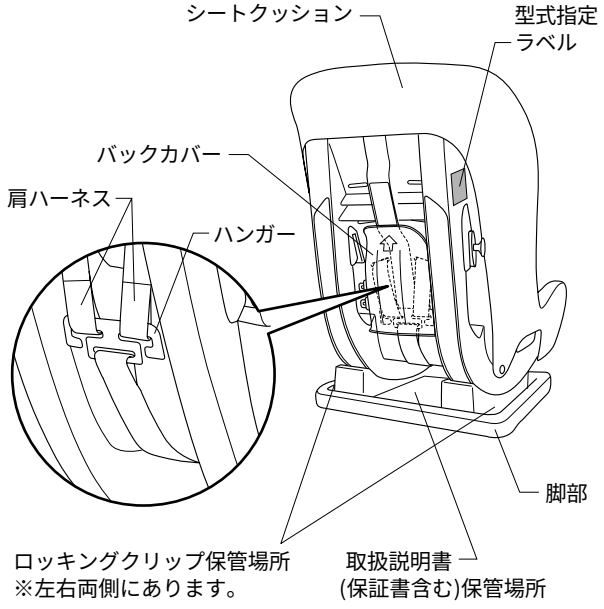
① チャイルドシートや付属品およびシートカバー類が揃っているか確認してください。

② チャイルドシートや付属品およびシートカバー類に破損等がないか確認してください。

●上記点検を行った際、欠品や破損等ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお客様相談室までご連絡ください。また、ご不明な点がある場合や、故障、修理の際も同様にご連絡ください。

本体



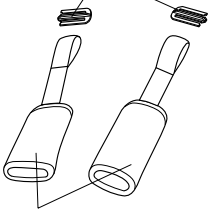


同梱されているもの

ロッキングクリップ

取扱説明書

クリップ



前向き用肩ハーネスカバー
(パッド付き大)

クリップと前向き用肩ハーネスカバーは、なくさないよう、大切に保管しておいてください。

マーク表示について

必ずお使いになる前にお読みください。

本商品は、お子さまの命を守る重要な役目を果す商品ですが、取扱説明書の指示に従わないと本来の機能をはたさず、事故に合われた時にお子さまが死亡または重大な傷害を負う恐れがあります。
取扱説明書を必ずお読みいただき十分ご理解のうえ、正しくご使用くださるようお願い致します。

●本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のあることを下記の表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。
これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険

● 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの　（本用品は該当なし）

⚠警告

● 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意

● 指示に従わないと、傷害をうける可能性があるもの

●当商品に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。
しっかりお読みください。

アドバイス

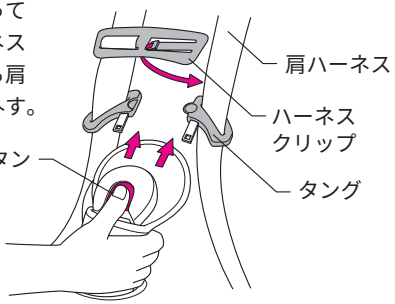
・当商品が故障、破損するのを防ぐためアドバイスを記載しています。
・異常事態の処置方法を記載しています。
・当商品を確実にお取り付けして頂くためのアドバイスを記載しています。

知　識

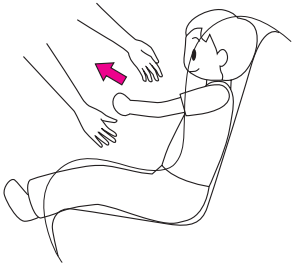
知っておいていただきたいこと、
知っておくと便利なこと
を記載しています。

緊急時には 衝突事故等の緊急時は、あわてず次の順序ですみやかにお子さまを救出してください。

1 ハーネスボタンを指で押しタングを外し、向かって右側のハーネスクリップから肩ハーネスを外す。



2 お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



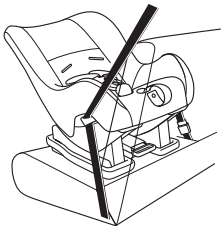
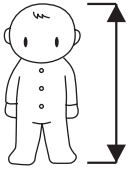
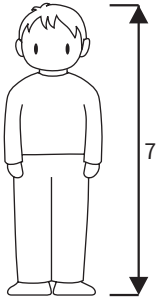
※ハーネスボタンを押してもタングが外れない時は肩ハーネスを切断するなどしてハーネスを外してください。

ご使用上の条件

1.お子さまの条件

⚠警告

下記の条件を満たさないお子さまは使用しないでください。この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。

	後ろ向き取り付け	前向き取り付け
取り付け状態		
体重	9kg未満	9kg～18kg未満
参考年齢※	新生児～9ヶ月頃まで	9ヶ月頃～4歳頃まで
参考身長※		

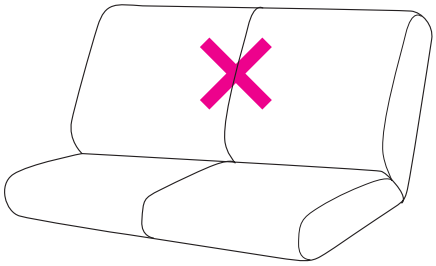
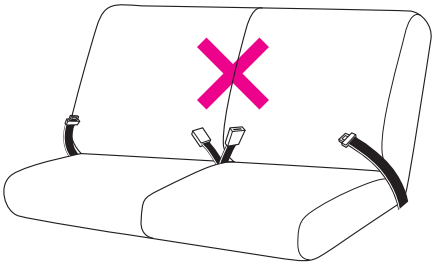
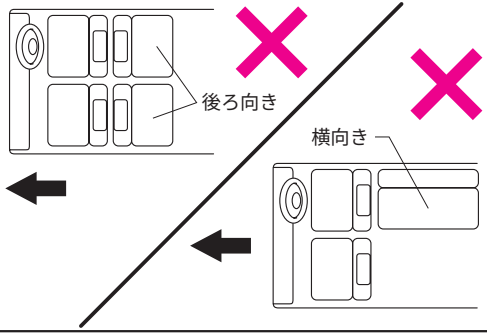
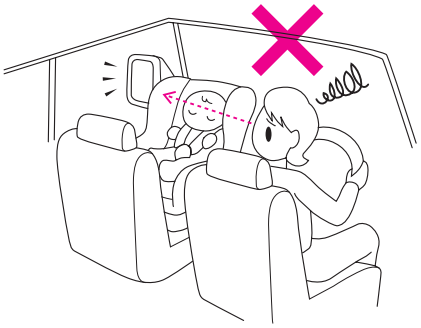
※年齢・身長の範囲は、おおよその目安ですので、お子さまの体重に合わせてお使いください。

2.車の座席の条件

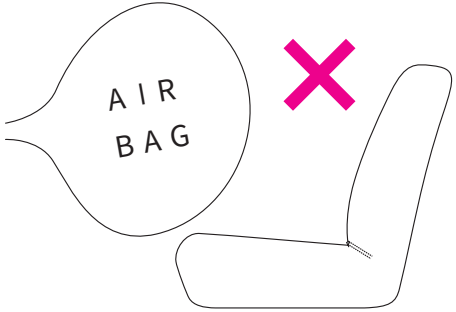
⚠警告

次のような座席にはお使いにならないでください。

※事故時にお子さまに加わるダメージを軽減する効果がなかったり、逆にお子さまや他の乗員が重大な傷害を受ける恐れがあります。

シートベルトの付いていない座席	2点式シートベルトの付いている座席
	
横向き、後ろ向きの座席	チャイルドシートで運転に支障をきたす座席
	

エアバッグの付いている座席



※1

P.11～12で取り付けができないと明記されているシートベルトの付いている座席

※1但し、一部の車両では前向きでご使用できる場合があります。詳しくは、車両取扱説明書をご確認ください。

取り付けできるシートベルト・取り付けできないシートベルト

※自動車のシートベルトの種類・特徴・長さの調節のしかた等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

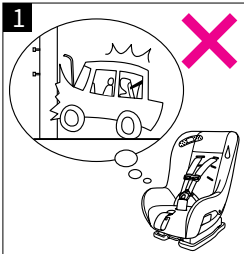
<table>
<tr><th colspan="2">シートベルトの種類</th><th>特　　徴</th></tr>
<tr><td colspan="2">２点式シートベルト</td><td>肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト</td></tr>
<tr><td rowspan="6">３点式シートベルト</td><td>ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト</td><td rowspan="2">ELRベルトとは、ベルトをゆっくり引き出せば自由に出入りするが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックを与えるとロックされるシートベルト。自動車の３点式シートベルトのほとんどにＥＬＲが使われています。また、一部には腰ベルト側にＥＬＲが付いた３点式シートベルトもあります。</td></tr>
<tr><td>腰ベルト側にELRが付いたシートベルト</td></tr>
<tr><td>ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト</td><td>シートベルトを引き出す途中で手をとめると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せない。</td></tr>
<tr><td>ELR・ALR付シートベルト(チャイルドシート固定機能付きシートベルト）</td><td>通常はELRの機能だが、シートベルトを全量引き出すとALRの機能に切り替わるシートベルト。</td></tr>
<tr><td>NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト</td><td>ロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用する。</td></tr>
<tr><td>マニュアル式シートベルト</td><td>巻取り装置のない３点式シートベルト。</td></tr>
<tr><td colspan="2">パッシブシートベルト</td><td>前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他のシートベルト</td><td>表に記載されていないもの全て。</td></tr>
</table>

◯：取り付けできる ×：取り付けできない	取り付けの際の注意点
×	⚠警告 チャイルドシートを取り付けないでください。
◯	⚠警告 走行中シートベルトが緩み、チャイルドシートがズレる恐れがありますので、後ろ向き使用の場合はロックオフクリップをご使用ください。また、前向き使用の場合はロックオフレバーをご使用ください。
×	⚠警告 チャイルドシートを取り付けないでください。
◯	チャイルドシートを固定するのに必要な長さのシートベルトを一気に引き出して固定してください。
◯	チャイルドシートを固定する時、必ずシートベルトを全量引き出しALR機能に切り替えてから固定してください。
◯	巻取り装置からシートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。
◯	チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し固定してください。
×	⚠警告 チャイルドシートを取り付けないでください。
×	⚠警告 チャイルドシートを取り付けないでください。

ご使用上の注意

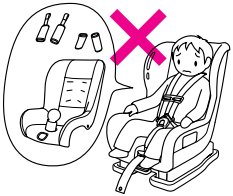
⚠警告

1



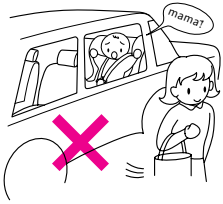
事故等でチャイルドシートが強い衝撃を受けた場合は、目に見えない破損がある恐れが強いので、再使用しないでください。

2



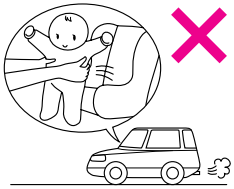
拘束性能に影響を与える恐れがあるため、柔軟材料（専用カバー類・ベルト類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。

3



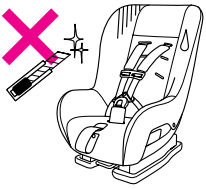
お子さまをチャイルドシートに座らせたままお車から離れないで下さい。不慮の事故につながる恐れがあります。

4



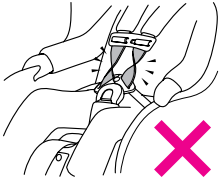
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。

5



チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。切れていたりすると、チャイルドシートが正常な働きをしない場合があります。

6



ハーネスは、ねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。

7

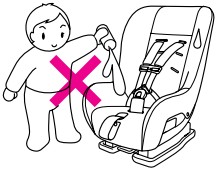
チャイルドシートを取り付けた後、お車の座席を移動させたり、背もたれを前後に倒したりしないでください。チャイルドシートの固定がゆるむ恐れがあります。

8

取扱説明書に記載された以上の分解、構成部品を取り外した状態での使用、指定以外の物との交換は絶対にしないでください。

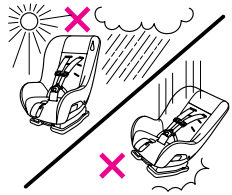
⚠警告

9



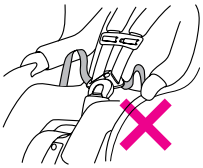
チャイルドシートのロック部分(バックル等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

10



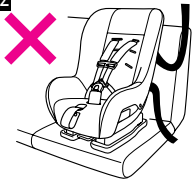
チャイルドシートを保管する時は、強い衝撃を与えたり、長期間屋外に放置しないでください。

11



腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に腹部が圧迫される恐れがあります。

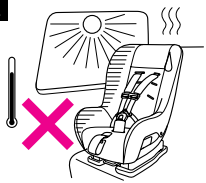
12



チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じます。

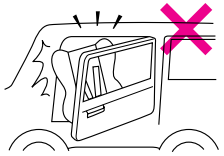
⚠注意

1



チャイルドシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまが火傷をする恐れのないことを確認の上、ご使用ください。

2

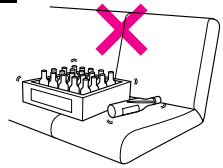


可動式シート又は車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本商品を取り付けてください。

3

チャイルドシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、ケガなどをする恐れがあります。

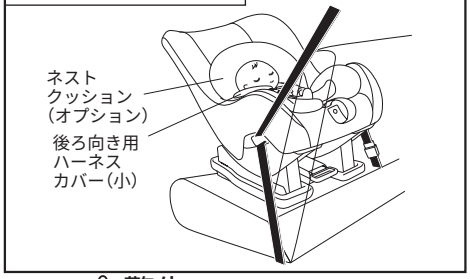
4



事故などにより、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員にあたる恐れがあり危険です。

最終取り付け状態

後ろ向きに取り付けます



⚠警告

●肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります（P.３～４参照）。前向き用が付いている場合、必ず後ろ向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。（取り換え方法はP.33～P.34参照）

●エアバッグ付きの座席には使用しないでください。事故時にエアバッグが開くことにより、重大な傷害を受ける恐れがあります。

⚠注意

後ろ向き使用時のリクライニング位置は４段目のみ使用可能です。

アドバイス

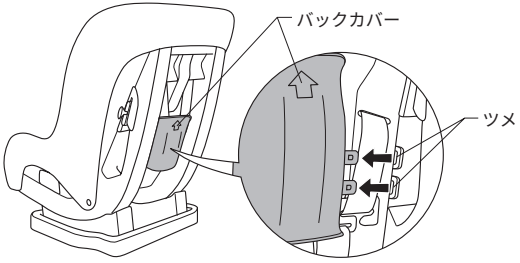
・ご使用にならない前向き用肩ハーネスカバーはなくさないよう、大切に保管してください。
・ネストクッションは、後ろ向きの時のみ、ご使用ください。（ネストクッションがなくてもご使用いただけます。）

取り付け前準備

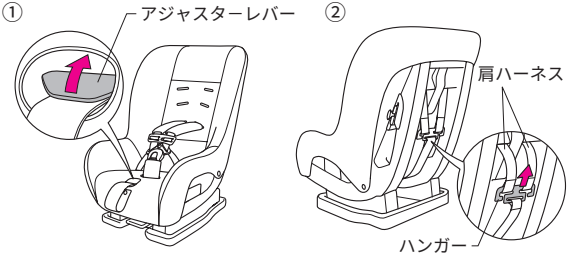
車への取り付け前に必ず確認してください。

※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できるように、３段階の肩ハーネス通し穴がついています。お子さまの体格に合わせて、肩ハーネスの高さを調節してお使いください。

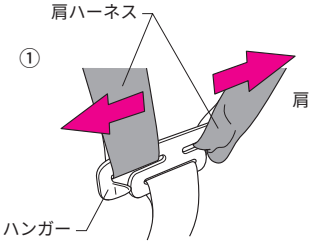
❶ バックカバーの左右どちらかのツメ２ケ所を外してから、残りの２ケ所を外し、バックカバーを取り外す。

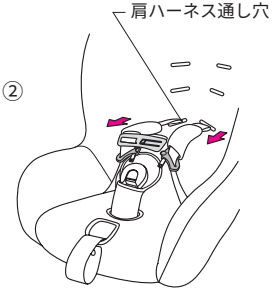


❷ ①アジャスターレバーを持ち上げながら、
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。

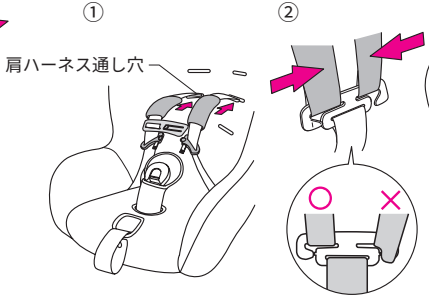


3 ①本体後ろ側のハンガーから片側ずつ肩ハーネスを外し、②本体肩ハーネス通し穴の前側から抜き取る。

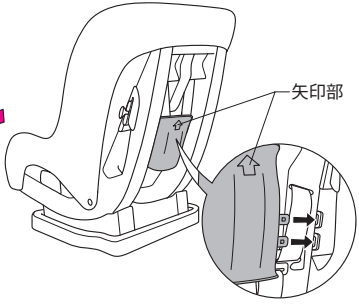




4 ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より低い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。



5 バックカバー矢印部が上にくるよう、本体にツメを引っ掛ける。



⚠注意

確実にツメが挿入されていなかったり、矢印部が上にない場合、事故時に十分な機能を発揮しない恐れがあります。

⚠警告

- ●肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受ける恐れがあります。
- ●肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

肩ハーネス高さチェック

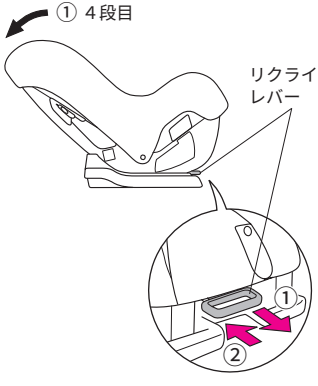
⚠警告

肩より高い肩ハーネス通し穴は使用しないでください。肩より高い位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

チャイルドシートの取り付け方

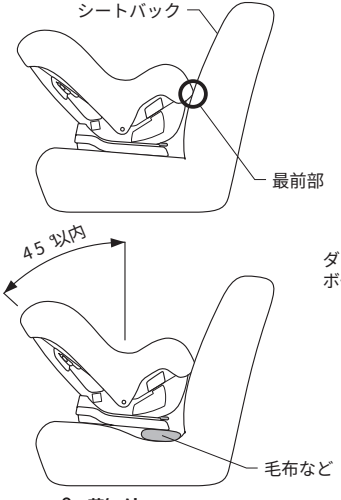
ELR付３点式シートベルトでの取り付け方

1 ①リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を４段目にセットする。
②リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせる。



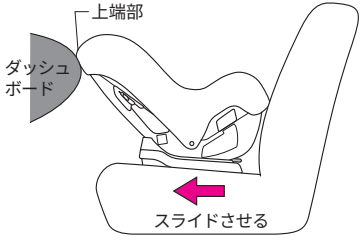
警告
ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

2 チャイルドシートの最前部が座席のシートバックにぴったりつくようにチャイルドシートを自動車の座席に置く。



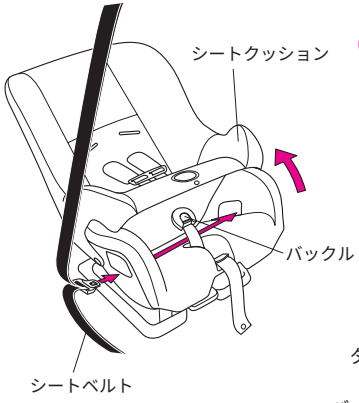
警告
チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタツキが生じると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。上図のように毛布などを入れてチャイルドシートの背もたれの角度が４５度以内でお子さまの頭が前にたおれないようにしてください。

アドバイス
前後にスライドできる座席では、シートを前方にスライドさせて、チャイルドシートの上端部をダッシュボードに当ててください。座席をスライドさせてもチャイルドシートの上端部がダッシュボードに当たらない場合は、座席を最後部にスライドさせてお使いください。

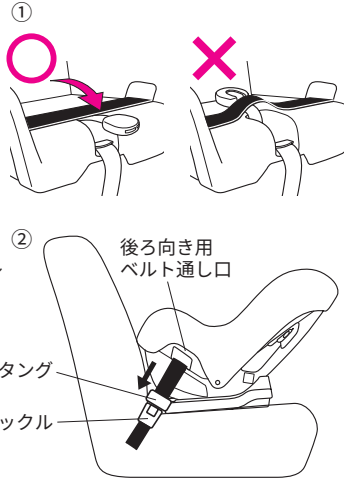


警告
エアバックの付いている座席では使用できません。事故時にエアバックが開くことにより重大な傷害を受ける恐れがあります。

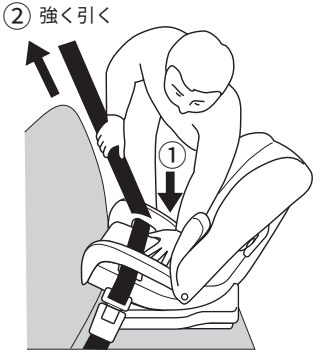
❸ ①シートクッションの前部分をめくる。
②タングを外したバックルをシートクッションから抜く。
③シートベルトを 後ろ向き用ベルト通し口に通す。



❹ ①チャイルドシートのバックルを車のシートバック側に倒す。
②シートベルトのねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込む。



❺ ①チャイルドシートを下に強く押し付けながら、
②シートベルトの肩ベルトを引き、余分なベルトを巻取りしっかりと固定する。



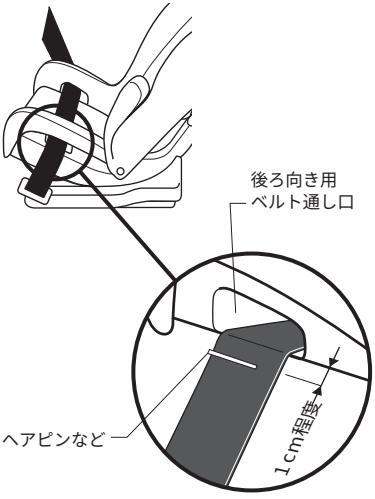
⚠警告

後ろ向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所に使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

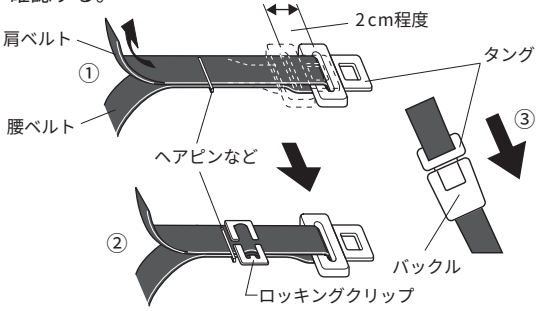
⚠警告

股ハーネスの上にシートベルトを通さないでください。
バックル位置がズレて、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

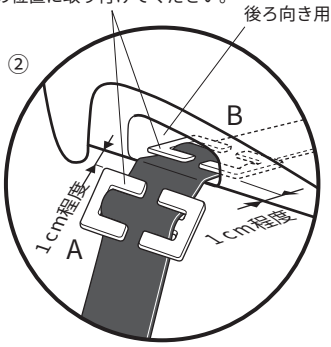
6 しっかりと固定した状態で、後ろ向き用ベルト通し口から1cmくらい外側に離れたシートベルトの箇所(自動車のバックル側)にシートベルトを傷つけないように、ヘアピンやクリップなどで目印を付けたあとタングをいったんバックルから外す。



7 ①目印を付けた位置より、肩ベルトのみ※2cm程度巻き戻し、
②目印よりも内側（タング側）にロッキングクリップを取り付け、
③タングをバックルに差し込み、
④付けた目印を取り除く。
⑤バックルをシートクッションの穴に通す。
⑥シートクッションをかぶせる。
⑦シートベルトでチャイルドシートが固定されていることを確認する。



車両側のバックルが長くてA側にロッキングクリップが取り付けられない場合は、Bの位置に取り付けてください。



※肩ベルトのみ2cm程度巻き戻すことにより、ベルト全体が短くなり、固定時のベルトのたるみを無くします。これにより、より確実にチャイルドシートを固定することができます。

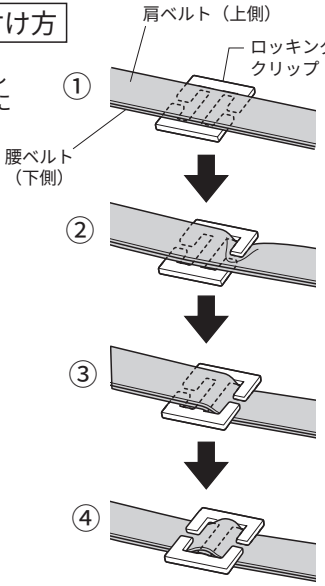
⚠警告

目印をつけるとき、ベルトに傷をつけないでください。少しでも傷ついていると、急ブレーキや衝突等の衝撃でシートベルトやハーネスが切れるなどして、お子さまがチャイルドシートから飛び出す恐れがあります。

ロッキングクリップの取り付け方

①肩ベルトを上に、腰ベルトを下にして重ね、ロッキングクリップの上にのせる。

②、③、④の順に図のように取り付ける。

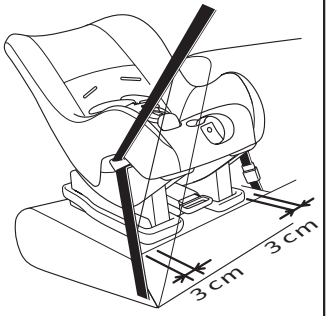


⚠警告

- ●ロッキングクリップと肩ベルト、腰ベルトの重ね方は必ず上図のとおりに重ねてください。
- ●チャイルドシートの取り付け以外では、ロッキングクリップを使わないでください。他の用途には使用できるようには設計されていませんので、思わぬ事故が起きる恐れがあります。
- ●チャイルドシートを使わない場合は、必ずシートベルトからロッキングクリップを外してください。ロッキングクリップが付いたままシートベルトを使用すると、事故や急ブレーキ時にロッキングクリップが体に当たり、ケガをする恐れがあります。
- ●ELR付３点式シートベルトで後ろ向きに取り付けるときは、必ず付属のロッキングクリップを正しく使ってチャイルドシートを固定してください。走行中にシートベルトがゆるみ、衝突時などにしっかり固定できない恐れがあります。

取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が３cm以内であることです。



3cm以上動く場合は「チャイルドシートの取り付け方」(P.17)❶からやり直してください。

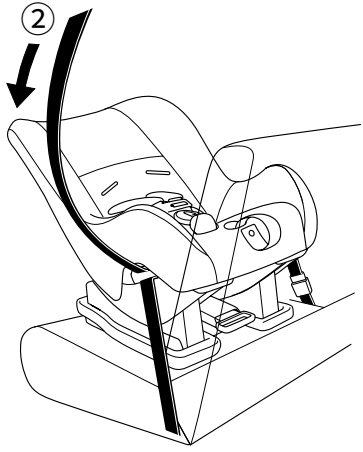
⚠警告

チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

■ELR・ALR付3点式シートベルト（チャイルドシート固定機能付シートベルト）での取り付けでは、ロッキングクリップは使用しません。この機能を使用するとロッキングクリップを使わずに固定できます。このシートベルトはシートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

❶ ① P.17～20「ELR付3点式シートベルトでの取り付け方」の❶～❹の手順に従う。
②シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。



❷ ①チャイルドシートを下に強く押し付けながら、
②シートベルトの肩ベルトを引き、余分なベルトを巻取る。

⚠警告

チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートのガタツキが生じ、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなる恐れがあります。

ALR付３点式シートベルトでの取り付け方

■P.17～20「ELR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❺、の手順に従って取り付けます。P.18の❸手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

NLR付３点式シートベルトでの取り付け方

■P.17～20「ELR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❺、の手順に従って取り付けます。このシートベルトはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

マニュアル式３点式シートベルトでの取り付け方

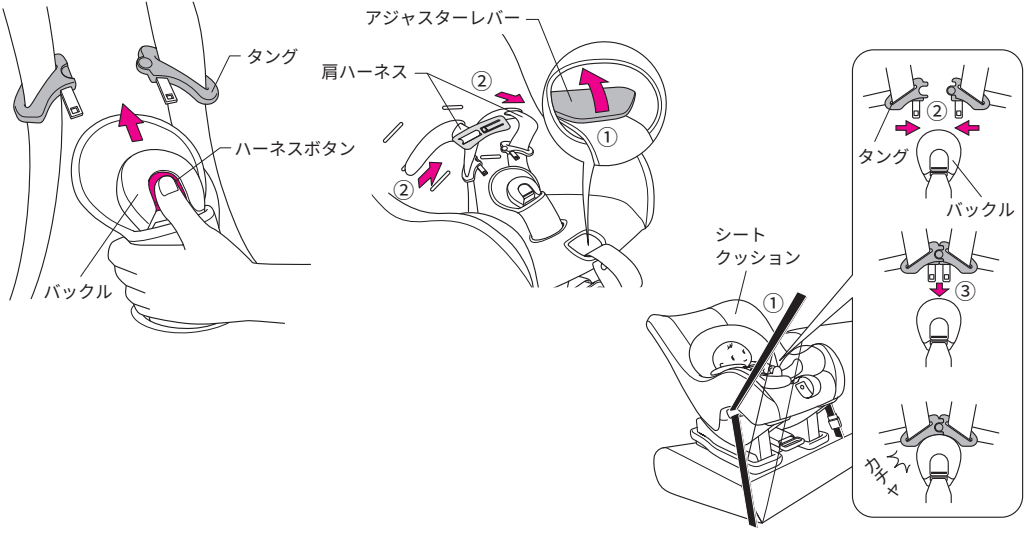
■P.17～20「ELR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❺、の手順に従って取り付けます。このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節し、使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

お子さまの座らせ方

❶ チャイルドシートのハーネスボタンを押し、タングをバックルから外す。

❷ ①アジャスターレバーを持ち上げながら、
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。

❸ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせ、
②左右のタングをはめ合わせ、
③バックルへカチャというロック音がするまで差し込む。

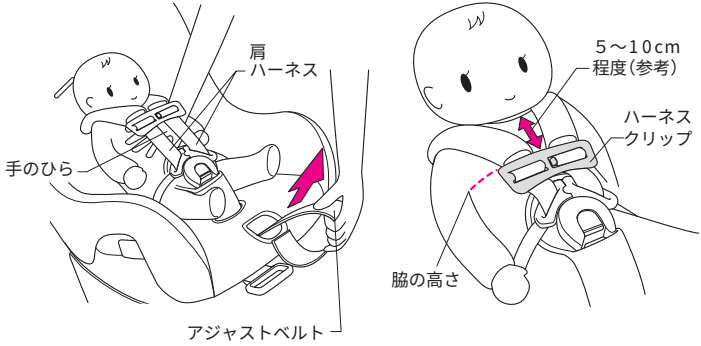


⚠警告

タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受ける恐れがあります。

❹ アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。

❺ ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から５～１０cm程度）。



⚠警告

肩ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれのないようにしてください。正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

⚠警告

肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受ける恐れがあります。

最終取り付け状態

⚠警告

肩ハーネスカバーは、前向き用と後ろ向き用があります(P.３～４参照)。後ろ向き用が付いている場合、必ず前向き用に取り換えてください。間違えて付いていると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。(取り換え方法はP.33～34参照)

⚠注意

前向き使用時のリクライニング位置は１～３段目のいずれかの位置で使用可能です。

アドバイス

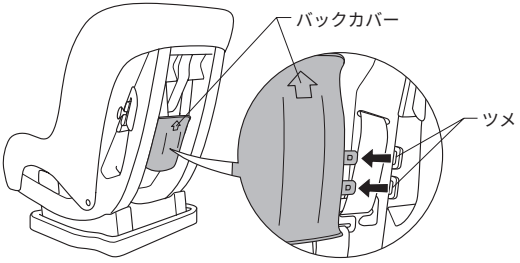
ご使用にならない後ろ向き用肩ハーネスカバーはなくさないよう、大切に保管してください。

取り付け前準備

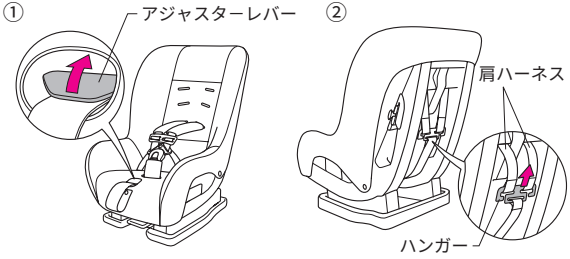
車への取り付け前に必ず確認してください。

※このチャイルドシートは、お子さまの成長に合わせて肩ハーネスの高さを調節できるように、３段階の肩ハーネス通し穴がついています。お子さまの体格に合わせて、肩ハーネスの高さを調節してお使いください。

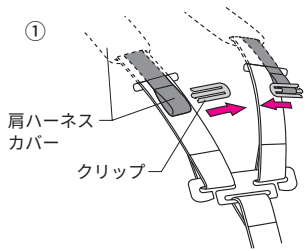
❶ バックカバーの左右どちらかのツメ２ケ所を外してから、残りの２ケ所を外し、バックカバーを取り外す。



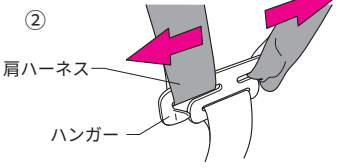
❷ ①アジャスターレバーを持ち上げながら、
②ハンガーを引き出して肩ハーネスをゆるめる。

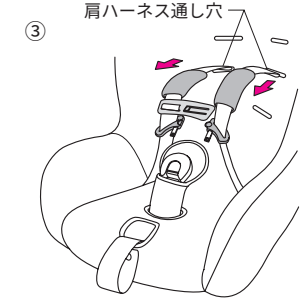


3 ①本体後ろ側の前向き用肩ハーネスカバーからクリップを外す。

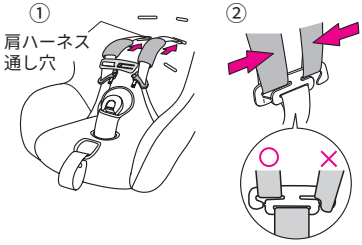


②ハンガーから片側ずつ肩ハーネスを外し、
③ 肩ハーネス通し穴から抜き取る。

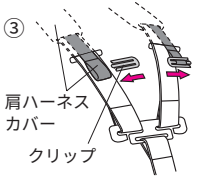




4 ①肩ハーネスを、本体前側からお子さまの肩より高い位置の肩ハーネス通し穴に差し込む。
②片側ずつハンガーに掛ける。



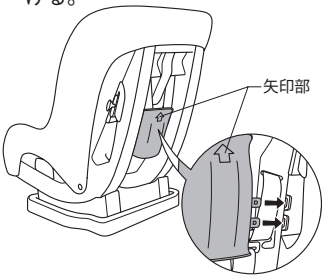
③前向き用肩ハーネスカバーにクリップの凸部を上にして、チャイルドシートの中心から外側に向かって取り付ける。



⚠警告

- ●肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。ねじれていると事故時に、重大な傷害を受ける恐れがあります。
- ●肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

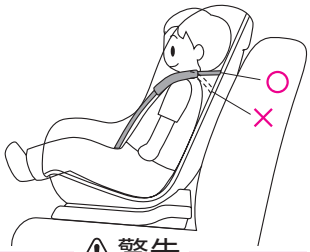
5 バックカバー矢印部が上にくるよう、本体にツメを引っ掛ける。



⚠注意

確実にツメが挿入されていなかったり、矢印部が上にない場合、事故時に十分な機能を発揮しない恐れがあります。

肩ハーネス高さチェック



⚠警告

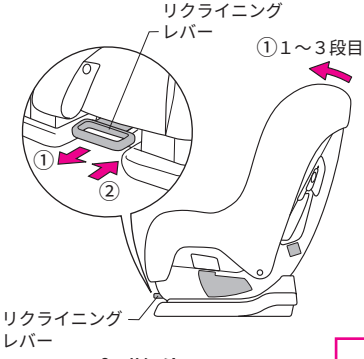
肩より低い肩ハーネス通し穴は使用しないでください。肩より低い位置で使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

チャイルドシートの取り付け方

ELR・ALR付3点式シートベルトでの取り付け方

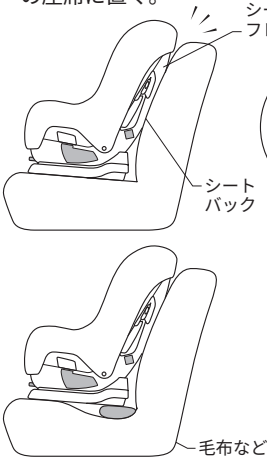
■このシートベルトは後部座席に付いており、シートベルトを全量引き出し、少し戻すと自動的にALR機能に切り替わります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

❶ ①リクライニングレバーを手前に引きながら、角度を1～3段目にセットする。
②リクライニングレバーを離しチャイルドシートをロックする。リクライニングレバーが奥に戻っていない時は、チャイルドシート本体を軽く前後に動かしてロックさせる。



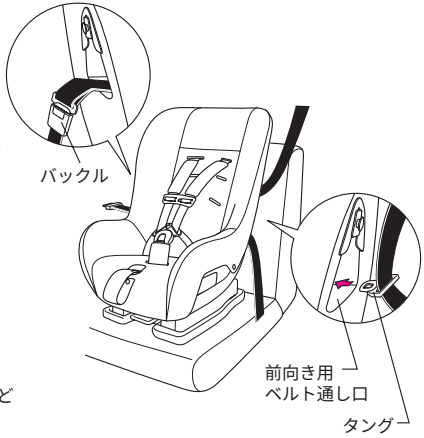
⚠警告
ロックされていないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

❷ シートフレームを座席のシートバックにぴったりつくようにチャイルドシートを自動車の座席に置く。



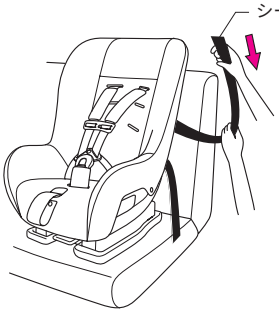
⚠警告
チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタツキが生じると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。上図のように毛布などを入れてチャイルドシートを固定してください。

❸ シートベルトを前向き用ベルト通し口に通し、タングをバックルに差し込む。

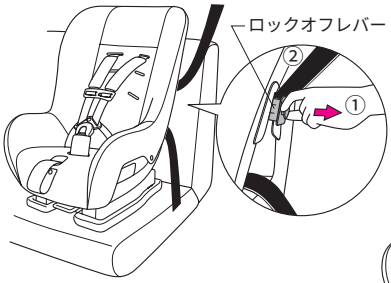


⚠警告
前向き用ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所に使用すると、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

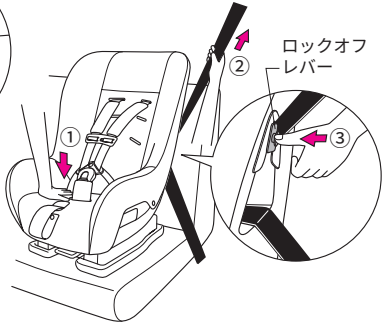
❹ シートベルトを全量引き出し、ALR機能に切り替える。



❺ ①ロックオフレバーを引き、
②本体側の矢印側のすき間にシートベルトの肩ベルトを通す。



❻ ①チャイルドシートに体重をかけながら、
②肩ベルトを強く引く。
③ロックオフレバーを一番奥まで差し込む。



アドバイス

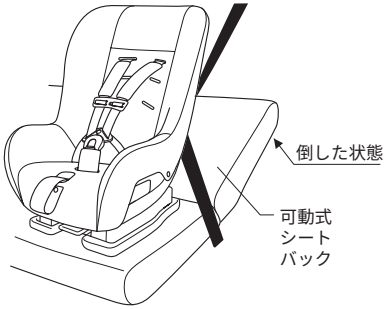
ロックオフレバーを使用することにより、ELR付3点式シートベルトでの取り付け時でも、走行中にチャイルドシートがずれたり、動いたりすることなく、確実に自動車の座席に固定することができます。

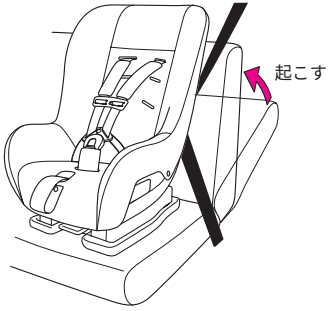
⚠警告

ロックオフレバーを奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないと、シートベルトがゆるみ、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

アドバイス

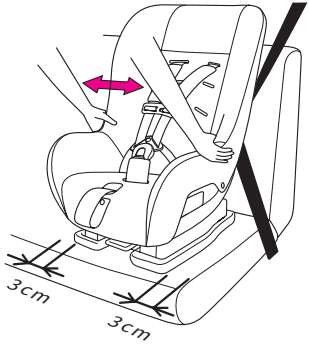
車両が可動式シートバックの場合は、「チャイルドシートの取り付け方」（P.27～28）❶～❻の手順で取り付け後にシートバックを起こすと容易にしっかり取り付けられます。





取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられている目安は、左右にゆすった時、移動距離が3cm以内であることです。



3cm以上動く場合は「チャイルドシート取り付け方」（P.27）❶からやり直してください。

⚠警告

チャイルドシートを車両に固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

ELR３点式シートベルトでの取り付け方

■P.27～29「ELR・ALR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❸,❺～❻の手順に従って取り付けます。

ALR付３点式シートベルトでの取り付け方

■P.27～29「ELR・ALR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❸,❺～❻の手順に従って取り付けます。P.27の❸の手順をするときには、シートベルトを固定に必要な量だけ一気に引き出す必要があります。このシートベルトは、シートベルトを引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ、それ以上引き出せなくなります。シートベルトを全て巻き戻すと元に戻ります。ALR機能・使い方等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

NLR付３点式シートベルトでの取り付け方

■P.27～29「ELR・ALR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❸,❺～❻の手順に従って取り付けます。このシートベルトにはロック機構がなく、シートベルトを全量引き出し、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さ調節のしかた等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

マニュアル式３点式シートベルトでの取り付け方

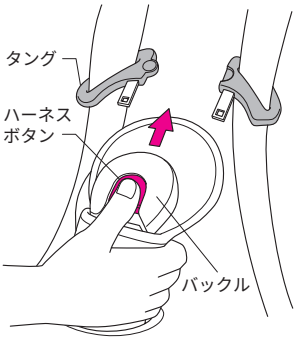
■P.27～29「ELR・ALR付３点式シートベルトでの取り付け方」❶～❸,❺～❻の手順に従って取り付けます。このシートベルトは、チャイルドシートに合わせてシートベルトの長さを調節して使用します。長さの調節等詳しくは自動車の取扱説明書をお読みください。

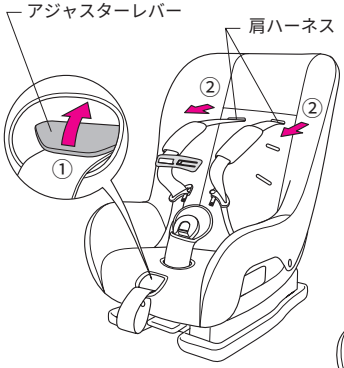
お子さまの座らせ方

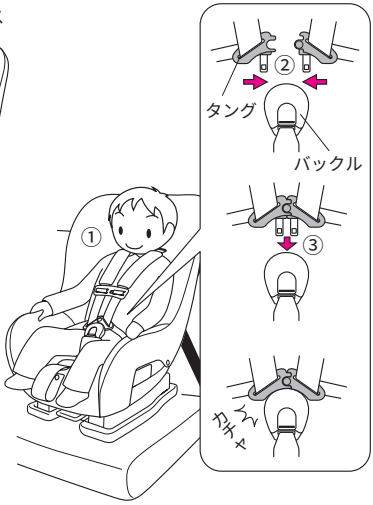
❶ チャイルドシートのハーネスボタンを押し、タングをバックルから外す。

❷ ①アジャスターレバーを持ち上げながら、
②2本の肩ハーネスを引き出しゆるめる。

❸ ①お子さまをシートクッションの上に深く腰かけさせ、
②左右のタングをはめ合わせ、
③バックルへカチャというロック音がするまで差し込む。





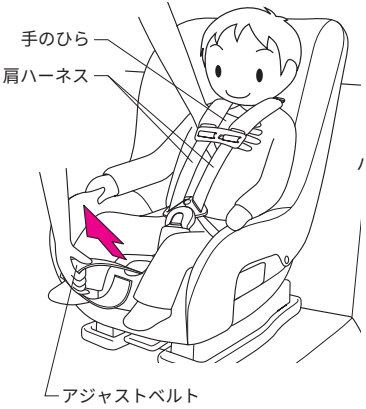


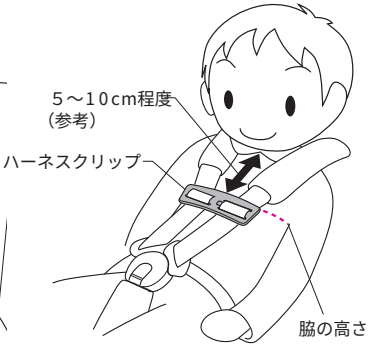
⚠警告

タングが正しく差し込まれていないと、衝突や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を受ける恐れがあります。

❹ アジャストベルトを引き、お子さまの体と肩ハーネスの間に手のひらが入る程度まで肩ハーネスのたるみを取り除く。

❺ ハーネスクリップをお子さまの脇の高さくらいで留める（首から５～１０cm程度）。





⚠警告

肩ハーネスはお子さまの身体に合わせてしっかりと調節し、ねじれのないようにしてください。正しく着用していないと、事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

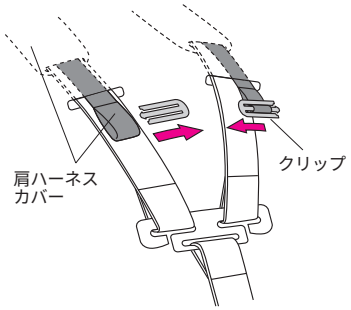
⚠警告

肩ハーネスが外れない様に、ハーネスクリップは必ず取り付けてください。肩ハーネスが外れると、衝突や急ブレーキなどに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し重大な傷害を受ける恐れがあります。

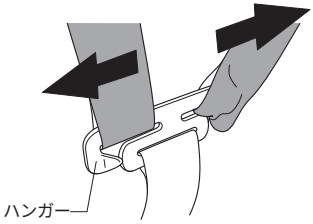
シートカバー類の取り外し方

前向き使用時：❶〜❹　後ろ向き使用時：❷〜❹

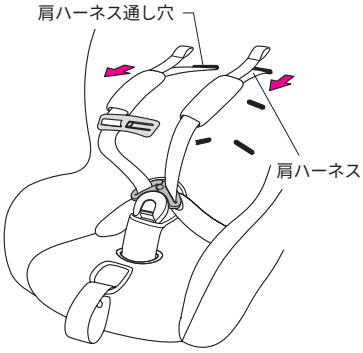
❶ 前向き用肩ハーネスカバーの場合は、クリップを肩ハーネスカバーから外す。



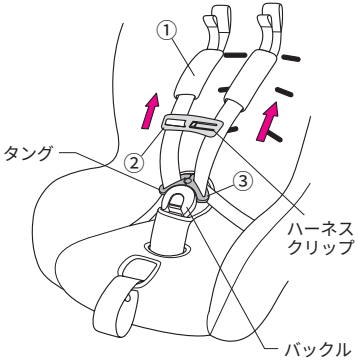
❷ ①肩ハーネスを後ろ側のハンガーから片側ずつ外す。



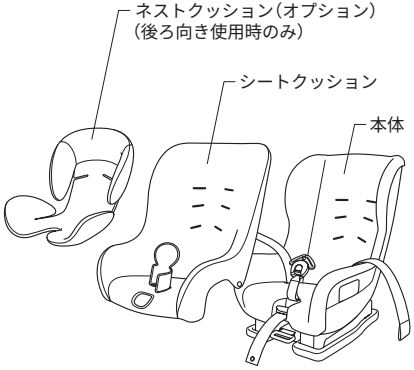
②肩ハーネス通し穴の前から抜き取る。



❸ バックルにタングを差し込んだまま、
①肩ハーネスカバー（前向き用または後ろ向き用）
②ハーネスクリップ
③タングから肩ハーネスの順で抜き取る。



❹ シートクッションを取り外す。



シートカバー類の取り付け方

● 後ろ向き・前向き共、取り外し方と逆の手順で各カバー類を取り付ける。

⚠警告

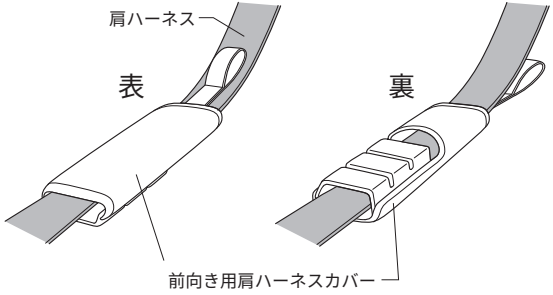
ハーネスがねじれていないことを確認してください。
ねじれていると事故時に重大な傷害を受ける恐れがあります。

⚠注意

●専用カバー以外は使用しないでください。事故時に十分な機能を発揮しない恐れがあります。
●シートカバー類は必ず取り付けて使用してください。取り付けないと、日光が当たり火傷をする恐れがあります。

アドバイス

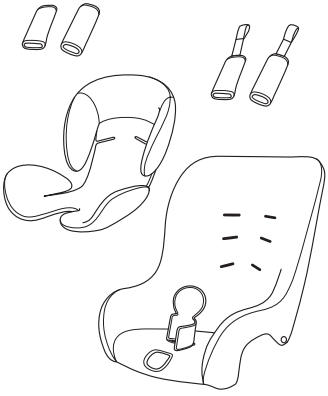
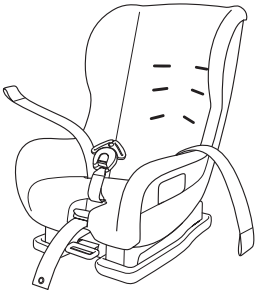
前向き用肩ハーネスカバーを通す場合、図のような方法でチャイルドシート側の肩ハーネスを通してください。



各部のお手入れについて

※シートカバー類がよごれた場合は本体より取り外し洗濯することができます（P.33～34「シートカバー類の取り外し方」参照）。中性洗剤を使用し必ず手で押し洗いをしてください。

※シートフレーム等のプラスチック部が汚れた場合は、乾拭きか水拭きをしてください。

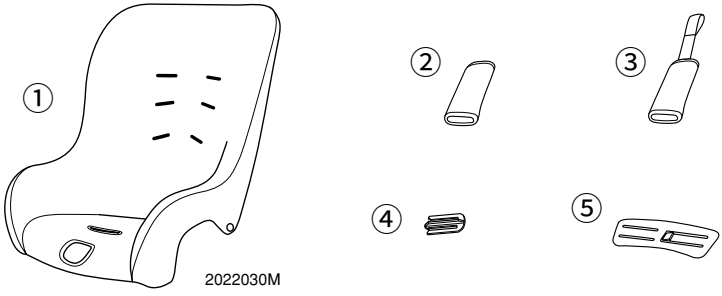
本体カバー類	本　　体
	
	洗剤類を使用しないでください。変色等の恐れがあります。
⚠注意 洗濯後は、完全に乾燥させてからお使いください。	⚠注意 水拭き後は、完全に乾燥させてからお使いください。

補修部品について

＜チャイルドシート＞

	名　　称	品　　番	数 量
①	シートクッション	08P90-TA2-HM0-11	1
②	後ろ向き用肩ハーネスカバー	08P90-TA2-HM0-12	1
③	前向き用肩ハーネスカバー	08P90-TA2-HM0-13	1
④	クリップ	08P90-TA2-TM0-14	1
⑤	ハーネスクリップ	08P90-TA2-TM0-15	1

形　　状



メ　モ

メ　モ

●商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または、(株)ホンダ アクセス お客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダ アクセス「お客様相談室」全国共通フリー ダイヤル

0120-663521（受付時間：**9時～12時 13時～17時**／但し、土日・祝祭日は除く）

発売元 株式会社ホンダアクセス 〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番4号

製造元 タカタ株式会社 〒106-8510 東京都港区六本木1丁目4番30号 第25森ビル

不許複製 株式会社ホンダアクセス

08P90-TA2-H012-80